

再 評 価 調 書

整理番号 5

担当部局 土木部道路建設課 県道G (内4431)

1 事業概要

(1)事業名	地方道路整備事業	(2)名称	主要地方道 日立いわき線
(3)事業主体	茨城県	(4)箇所名	日立市砂沢町～日立市十王町友部
(5)採択年度	平成10年度	(6)完成予定年度	平成31年度
(7)事業目的	・十王駅付近における交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保を図る。 ・沿線の大規模住宅団地（コモンシティ十王・城の丘団地（計画面積64ha 計画戸数860戸 計画人口約3,000人））から発生する交通の分散化を図る。		
(8)事業内容	・道路延長L=2,600m、計画幅員W=15.0m/6.5m、2車線 ・用地買収、道路改良・舗装工事、橋梁工事		

2 再評価の理由

(1)再評価の理由	再々評価	(2)当初完成予定年度	平成23年度
(3)未着工・事業が長期間要している理由	本事業は、平成10年度から事業を進めているが、用地交渉が難航していたことや道路計画の変更を行ったため、事業が長期間を要している。		
(4)前回指摘事項に対する対応状況(再々評価の場合)	委員会の意見	対応状況	
	継続することが妥当である。	指摘を踏まえ、残る区間の用地買収及び工事を進めた。	

3 事業計画の変更

(1)完成年度の変更	平成29年度 → 平成31年度 2年延長 【理由】十王川の北側において、用地補償内容について折り合いがつかず、用地交渉が難航したことによる。
(2)事業内容の変更	【理由】
(3)事業費の変更	3,360百万円 → 4,360百万円 1,000百万円増 【理由】法面対策及び軟弱地盤対策に伴う工事費の増大による。

4 進捗状況と今後の見通し

(1)事業進捗状況	全体	前年度	前年度まで	進捗率
事業量(m)	2,600	0	1,240	48%
事業費	工事費	3,402	271	85%
	用地買収補償費	958	29	98%
	計(百万円)	4,360	300	88%
(2)関連事業の進捗状況	日立市道10377号線（屋敷前風早線） L=1.13km H23.3.23供用			
(3)今後の見通し	工事	用地等		
	日立市道屋敷前風早線から日立市十王町友部の現道までの約440m区間について、平成30年度の供用を図り、残る約640m区間についても平成31年度の供用を図る。	残る用地については、平成30年度を目途に完了させる。		

5 評価内容

(1)事業の必要性	事業区間の現道は、砂沢町地内から十王駅付近を通過し十王町友部地内へ至っており、沿道には人家が連担するとともに変則交差点を通過することから、朝夕の通勤時間などで渋滞が生じている。このため、交通危険箇所の解消や渋滞緩和を図る上で、駅付近の市街地を迂回するバイパス整備の必要性は高い。					
	社会情勢等の変化に関する指標1	計画時の状況	現時点での状況	社会情勢等の変化に関する指標2	計画時の状況	現時点での状況
	十王町友部地区内交通量(/24時間)	14,526台(H6セブス)	15,834台(H27セブス)	-	-	-
(2)事業の有効性	本事業の実施により、砂沢町から日立市十王町友部までの通過時間が約3分短縮されるとともに、将来の現道交通量も約56%減少し、バイパスに転換することが予想されることから、本事業は円滑な交通の確保や安全性・利便性の向上に有効である。					
	効果予測に関する指標1	事業なし	事業あり	効果予測に関する指標2	事業なし	事業あり
	日立市砂沢町～日立市十王町友部の通過時間(H42)	6.7分	3.3分	日立市砂沢町～日立市十王町友部の現道交通量(H42)	12,900台/24h	5,700台/24h
	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり
	将来交通量(H42) ※現道交通量を含む	12,900台/24h	15,700台/24h			
(3)事業の効率性	ア) 主な効果(B) ①当該区間の整備により、日立市砂沢町地内から日立市十王町友部地内までの約2.6km区間において走行時間の短縮(約80億円)、及び走行経費の減少(約14億円)、及び交通事故減少(約5.6億円)が図られる。(約99.6億円) ②交通が新たに整備されるバイパスに転換させることにより、十王駅付近の交通混雑が緩和されるとともに、日立市街や常磐自動車道日立北IC方面へのアクセスが改善される。					
	イ) 主な費用(C) ①事業費 46億円 ②維持管理費 2億円 計 48億円					
	主な効果のうち貨幣化が可能な①、②について事業の効率性を分析した結果は以下のとおりである。 参考となる指標 B/C=2.08					
(4)地元の意向	十王駅付近等も含め日立市圏の慢性な渋滞緩和や交通安全の確保について、地元(日立市)から早期完成を要望されている。					
(5)コスト縮減や代替案立案の可能性	コンクリート再生砕石、アスファルト再生合材の利用により縮減					

6 対応方針

十王駅付近における交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保が期待されるため、事業を継続したい。

7 再評価委員会の意見

継続することが妥当である。

8 委員会の意見を踏まえた対応

部分供用による効果の早期発現に努め、期間内の完成を目指し、現計画で事業を進める。